								小学校教諭	必修	
塪	坐 3	斗 目	夕	学校インターンシップ	教 員 名	河原 国男	 免許・資格	幼稚園教諭	必修	
1又	木 1	7 0	П	子仅イングーンンググ	扒 只 口	1915年四方	との関係	保育士	北顺	
授	業	形	熊	 演習	担当形態	単独		ペラエ こども音楽療育士		
科	<u>*</u> 目	番	号	页自 JIS203	担当沙思	- 平瓜		小幼コース		
単			数	1 単位	配当年次	1~4年次	卒業要件	幼保コース		
<u></u> 科	1	<u>v</u>	1 目	1 半位				対 休コース		
	∕ ∓ ±	:8 Bil								
施 行 規 則 に 定める科目区分 大学が独自に設定する科目										
		事項		八子が独自に放定する行	Ħ					
	10.	+ ×	٠,	 幼児、児童及び生徒並	びに学習環境	************************************	か観察を行い	 学校宝務に対する補	助的な役	
_	般	目	標							
				割を担うことを通して、教育実習校・実習園の幼児、児童及び生徒の実態と、これを踏まえた学校 経営並びに技能を理解する。						
	達	目	標	(1)学校・園おける授業以			業の補助、学校		 b加、放課	
				後の児童クラブ、土曜						
				理解する。						
				(2)幼児、児童及び生徒へ	の教科以外の	の様々な活動の場	面で適切に関	わる必要性を理解でき	きる。	
到				(3)学校教育における今日	的課題につい	ハて、課題解決に	向けた取組を見	見学・経験しながら、	学校経営	
				方針及び特色ある教育活動並びにそれらを実施する組織体制を理解する。						
				(4)自身の学びを振り返り	、学校インタ	ターンシップで学	んだことから、	教職に関する事柄に	対する省	
				察力を高める。						
		の概		本演習は、教育保育実習	担当教員の指	f導・助言のもと.	、教育・保育実	ミ習に行くための事前	i研修の位	
授	業(要	置づけとして開講する。	終了後は、自	身の学びの成果	をまとめ、レオ	ペートを提出すると同]時に事後	
				報告会において発表する。						
	•	ロマ・との関		本演習は、教育学部のデ	ィプロマ・ホ	ポリシーに掲げる	「2. 教育者とし	ての情熱を持ち、正	しい倫理	
ディ			ポ	観と責任感を身につけて	いる。」「4.素	教育に関する事柄	について、継絡	売的・主体的に学ぶ学	習能力を	
リシ			葛係	身につけている。」「5. 巻	対育実践力を.	身につけている。	」「6. 教科・教	対職に関する基礎的・	応用的知	
				識を身につけている。」を						
	業	計		・学校インターンシップ				生によっては受け入	れ先との	
				協議・了解の元、講義の空き時間を活用して実施する。 ・学校インターンシップとして、以下を認定している:①宮崎県主催するスクールトライアル事業						
				・字校インターンンップ (1年次)、②宮崎県教						
				(1年次)、②呂呵県® ンターンシップ (3-4						
				「忍ケ丘保育者塾」(幼						
				保育フェスティバル、			之外大战畔庄(11EC40.0	
				・上記以外について、教員	, ,,, == ,	呆育教諭の資質向	上につながるネ	舌動を認定するので、	担当教員	
				と相談・確認の上、実施すること。						
授			画	第1回:学校インターンシップに関するオリエンテーション・事前研修会(個人情報・研究倫理研修						
				を含む)①~⑧については、それぞれの機会(月曜3限、その他)に事前指導を行う。						
				第2回~第14回						
				· 小学校教諭免許状:宮	崎県が主催す	「るスクールトラ	イアル事業(月	、・中における3日間	の見学実	
				習を含む)を含み、12回(原則としてインターンシップ合計時間数は45時間)以上の研修を必要と						
				する。						
				・幼稚園教諭免許状・保育士資格:幼稚園・保育所における事前見学の他、地域で実施される保育						
				フェスティバル等を含む (実施された日数・時間数で単位数を計算する)。						
	4-1-17		=	第15回:事後報告会						
学生	生に	対す	る	授業計画に記載されてい	るボランティ	ア活動を45時間.	以上経験したこ	とを報告書等で確認	ける他、	
評			価							

授業外学習		
について		
テキスト	ト 必要な資料はすべてプリントで配布する。	
参 考 書・		
参考資料等		
	・免許状を取得する場合は、必修とする。免許状を取得しない場合は卒業所要単位から除く。	
	・実習先の学校・園は、学生諸君の実習のためにあるのではなく、子どもたちの学びの場となって	
担当者からの	いる。したがって、教員・保育者への強い志望を持っており、成績評価の対象として定められた実	
メッセージ	習時間を継続できる学生のみについて受講を認める(途中で中止することは、実習先の子どもの	
(履修上の注	気持ちや学校・園の信頼を裏切ることになるので、厳に慎むこと)。	
意)	・「学校インターンシップ受講登録届」に記入された希望等をもとに、インターシップ実習先を調整・	
	決定する。	
	・実習にかかる交通費等の諸経費は受講生負担とする。	
オフィスアワー	フィスアワー 河原国男(メール等でアポイントを取ること)	